



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 65 号

発行 岡村病院
編集 歩(あゆみ)
編集委員会
平成26年11月1日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者様本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



「コスモス」

今月のことば

「まず笑顔であいさつ」

少し前ですが、退院される患者さまに書いて頂いたアンケートの中に、「よく声をかけて頂き、病気についても心が落ち着いて対応できたと喜んでいきます。」とか「皆様、本当に良く、優しく接して下さいました。特に手術に不安がありましたが、何回も不安を取り除いて下さるよう説明をして下さり、平常心で取り組む事が出来ました。」など書いて頂いているのがあり、本当にありがたく、また大事な事だと思いました。

日本看護協会の協会ニュースに、愛知県の或病院の紹介がでていましたが、その病院の看護の合言葉は『まず笑顔であいさつ』だそうで、地域の信頼も得ておられるようです。

私共も今回は「まず笑顔であいさつ」を合言葉にして、一段と明るく愛される病院づくりを心掛けて参りましょう。

iPS細胞移植の光と影

院長 岡村 高雄



平成 26 年 9 月 12 日に理化学研究所などのチームは目の難病患者の皮膚から作製した iPS 細胞（人工多能性幹細胞）を網膜の組織に変化させ、患者に移植する手術を実施したと発表した事は iPS 細胞の本格的な実用化の時代を迎え、難病に苦しむ方々に明るい日差しを与えてくれたニュースでした。

同時期に厚生労働省は 2012 年度に病気やけがの治療で全国の医療機関に支払われた医療費の総額（国民医療費）が、前年度比 6267 億円増（1.6%増）の 39 兆 2117 億円だったと発表しました。国民 1 人当たりでは、5600 円増（1.9%増）の 30 万 7500 円で、いずれも 6 年連続で過去最高を更新しています。入院・受診日数は減ったため総額の増加幅は前年度の 3.1%から圧縮されたものの、高齢化に加え、医療技術の高度化や薬の高額化で費用が膨らんだことが主な要因とされています。国民医療費を年齢別で見ると、65 歳以上の医療費が 22 兆 860 億円で全体の 56.3%を占め、75 歳以上は 13 兆 5540 億円で全体の 34.6%に上っています。1 人当たりでは 65 歳以上が 71 万 7200 円、75 歳以上は 89 万 2100 円でした。日本は世界最速の老人大国で、65 歳以上の人口が平成 15 年現在で 19%であり、今後とも急速に老人化率は高まって平成 27 年度には 26%、約 4 人に 1 人は 65 歳以上の時代が来ます。この為に医療費は今後も増加することがあっても減少することは有りません。以前は医療費増大の原因は投薬の多さや検査の多さであると指摘されてきましたが、現在はこのような時代は既に過ぎて、適正な投薬、検査が行われ、入院規制も相まって医療費増大に要因になる可能性は少ないと考えられます。今後の増大

要因は高度医療の増大に起因することが大きいと推測をします、iPS 細胞移植の費用を正確に知るすべはありませんが、現時点では 1 人 1000 ～ 2000 万と言われています。又、最近では高齢者でも安全に治療可能となった為にステント、人工弁、ペースメーカー等の高度医療器材を使用する機会が増大しています。更に世界中で多種多様な医療器材が開発をされつつあり、急速に医療現場に取り入れられていますので、益々医療費増大に拍車を掛けると思います。これらの開発は多くの患者様に負担なく、早期に元気になって頂ける方法ですが、国民全体として高齢化と共に今後はどうにしてこの医療費を負担し、支えて行くかが大きな課題と思います。

多くの方々が将来の医療費の負担を懸念して、儉約や貯蓄に励んでしまいます。これでは経済全体は一向に改善されません。不安のない将来が予見された時、家計は積極的に支出し、消費性向の上昇により景気はきっと良くなると考えられます。家計が抱える将来の健康に対する不安を排除するのも、政府の役割と言えます。消費税税率の引き上げといった負担増だけを家計に求め、将来の不安心理が増すだけでは安心した老後、医療は受けられません。日本の経済社会全体が構造的な低成長期ないし成熟期に入りつつありますが、高齢化は逆に急成長をしているとも言えると思います。この為に日本の医療産業を成長させ、世界に冠たる産業に成長をさせる事が将来の高齢化社会を支える礎になると思います。現在、日本の医療器材メーカーは非常に少なく、医薬品にしても世界のマーケットでは太刀打ちできない苦しい立場にあります。日米摩擦の為に米国製の医

療製品を使用しないと仕方がない立場も理解できますが、iPS細胞を含めた医療産業の育成しか高齢化社会を安心して過ごせる方法はないように思います。

医療を基幹産業として新しいお薬やIPS細胞の発展、医療機器の開発に全力を挙げて、日本の医療産業を世界に冠たる地位に築くことが、我々の未来の健康に寄与すると思っています。

「胃が張る」

消化器内科医長 植村 信隆



今年はひどい暑さと思えば、災害が出るような大雨が降ったりと変な気候の夏でした。いつの間にか涼しくなり秋になりましたが、身体のほうは季節の変化について行けず体調が今ひとつという方も多いかと思えます。

そういった方の中に「胃が張る」と病院へいらっしゃる方がおられます。まずは胃に病気がないか内視鏡検査（胃カメラ）や血液などの検査をしますが、検査には大きな異常がなくても症状がつづく場合があります。

胃腸の動きが悪いのか、また最近テレビCMでもでている「呑酸（どんさん）・逆流性食道炎なのかいろいろ原因が考えられます。食道炎なら内視鏡で食道のただれがわかりますが、それほどひどくなくても胃液が胸に向かって食道を逆流する胃食道逆流症もあります。これらはお薬で軽くすることができます。

今回は検査をしてもはっきりしない、薬を飲んででもスッキリしない「呑気症（どんきしょう）」についてお話ししましょう。呑気症とは空気を飲み込んでしまい胃袋が空気いっぱいになってしまう症状です。胃が張り、胸のつまりがあり、背中の中の出るひともいます。

ひとはつばを飲み込むときにわずかに空気も飲み込むのですが、それが多くなりすぎることがあります。ストレスの多いとき、アレルギーなど鼻水がのどに流れるとき、またい

びきをかいているときも空気を多く飲み込みます。ゲップして飲んだ空気を出せばいいのですがなかなか難しく、胃は張る、オナラは増えるとお辛い思いをします。

空気を飲み込むのは無意識のうちにしてしまいますので、なかなか解決は難しいです。まずは鼻水など原因があればその治療をします。空気を飲み込みやすいひとは、無意識のうちに菌を食いしばっていることが多く、普段意識して上下の菌がくっつかないようにすることが対策となります。意識して菌を離すのは難しいですが、続けるうちに慣れてきます。ストレスをためない、虫菌の治療も大事です。

おなかにたまるガスの70%は飲み込んだ空気という説もあり、オナラがよく出るひとは空気をたくさん飲み込んでいるかもしれません。どうしても苦しいときは炭酸の飲み物を飲んで、ゲップをするのも一つです。炭酸ガスは身体によく吸収されるのでオナラにはなりにくく、胃に残っても血液に吸収されて吐く息に出てしまいます。ただしビールの飲み過ぎはいけません。

胃が張ってつらい症状が続くときには、上にあるような対策をしてみてください。それでもスッキリしないときは、もちろん悪い病気ではないかの検査が必要です。気になるときは病院にご相談を。

骨・関節・筋肉・腱鞘もエコーで見ちゃいましょう!プロジェクト ～整形領域のエコー研修に参加して～

臨床検査室 浜田 佐智子

9月1日～13日までの約2週間にわたり、香川県宇多津市の宇多津浜クリニックにて私を含め2名の技師により、整形領域のエコー研修に行って来ました。研修先の施設は、関節リウマチ内科の大西先生と言う女医さんを中心として、整形領域のエコーの先駆者として今や大変著名であり、エコー関連書籍には必ず当施設の高島技師の資料が記載されており、研修先として迷わず選択をいたしました。



「宇多津浜クリニック エコー技師の方々と」

さて、そもそもエコーという検査は、超音波にて体内の臓器や血管を観察する訳ですが、骨（関節も含め）は、元々硬い石のような物であり、超音波は通りませんし苦手とする、もっと言えば考えられない領域だったようです。ところが、近年の超音波機器の劇的な進歩と発想の転換で、これら整形領域のエコー検査が急速に普及されつつあります。とは言えまだまだ本当に始まったばかりで、高知県内でもきちっとエコー検査を実施しているのは、一施設のみといった現状です。

当院でのエコー検査は、心臓・大血管～末梢血管の動脈・静脈・肝臓などの腹部臓器等多岐



「高島技師の関節で練習する」

にわたり実施しております。エコーは、冒頭にも書いたように超音波の検査である為、放射線などの被曝もなく、造影剤等を体

も入れませんので大変無害な検査です。その様な優しい検査が整形領域でも活躍できるなら、その技術を学び患者さんのお役にたてればとの思いで今回は学んで参りました。手足の指などの関節、肩の関節や筋・腱、同様に肘や膝等と体の主要部を網羅したつもりです。初日より午前中は、講義とデモンストレーションと高島技師の体をお借りして実技をしました。午後はいきなり患者さんをやらせてくれるという、かなりハードかつスパルタな研修でした。私は、8年程前に、大阪岸和田の徳州会に血管エコーを、3年前には、神奈川の菊名記念病院にてエコーガイド下血管内治療時のエコーと、一週間～二週間の長期研修はこれが3回目となります。正直1番ハードであったように思います。

さて、香川と言えば何ですか？私は、やはりうどんです。丸亀で高速バスを降り宇多津のホテルまでのタクシー内にて、開口一番聞いたのは「宇多津で一番有名なうどん屋さんはどこですか？」運転手さんの答えは「やっぱりおか泉やね～!」「そこは行ったことがあるき、もっとマニアックな有名などこはないか？」で、即答で教わったのが「うぶしな」と言うおうどん屋さんでした。研修半ばのお昼のランチに、高島技師に連れて行って頂きました。うぶしな神社が真横にあり境内内にそのおうどん屋さんがあります。長男が、この春まで香川の大学に6年も居た為、我浜田家はかなりうどん屋巡りをしており、うどんランキングのベスト10はほぼ征覇しています。この「うぶしな」は、以前グルメ番組で観たことがあったことに、着いて気付いたのですが、神社内にあるという特色がメニューにも出ており、檀家の方々が謙譲されるお餅をあげ餅にし



「うぶしな神社」



「境内内うどん屋さん」



「宮うどん」

て入っている「宮うどん」が一押しとのこと。早速その「宮うどん」をいただきました。皆さん、香川にうどん巡りに行く時は、是非この「うぶしな」の「宮うどん」を食べてみてください。私の中では、1位2位を争う美味しさでした。うどんの話題にそれと、「歩」1冊分書いちゃってしまおうなのでこの辺で話しを戻します。

この2週間で学んできた技術を、最大限に活かされることで、当院整形の谷先生と患者さんの診療の一助になればと願っております。老若男女、リウマチには罹患されます。どこかしら、関節が痛かったり、ど

こかの指が腫れて少し赤みがかって気になりましたら、整形の谷先生の門をたたいてみてください。リウマチだけに限らず、痛風や偽痛風の鑑別もできます。軟骨に結晶の沈着がきれいに見えます。また、ゴルフなどされる方によく見られる「バネ指」も腱鞘炎の一つです。野球肘などもそうですが、仕事やスポーツなどで同じ動作にて傷ついた小さい骨や腱板・腱鞘・靭帯などは、レントゲンでは分かり難いことも多く、きっとこれからエコー検査がゴールドスタンダードになって行くと思っています。

薬局だより

～新しい機械を導入しました～

名前はシャルティ。自動でお薬を分包する機械です。

分包とは一度に服用する薬を1パックにまとめる作業をいいます。

何種類ものお薬を服用する方にとっては非常に便利な方法ですが、今まで当院では人の手で一つずつ機械の中にお薬を入れており多くの時間を割いておりました。

ところがこの新しい機械、付属のパソコンに処方内容を入力しておくボタン一つで自動に分包してくれるのです。

例えば、手搾りの洗濯機を使っていたおうちに全自動洗濯機がやってきた!ような感じです。初日は、まるで子供がぐるぐる回る洗濯機を眺めるようにシャルティの分包の様子を眺めていた私たち。

今ではすっかり操作方法にも慣れ、今日もシャルティはスピーディーに仕事をしています。

で、終わってしまえば単なる人手不足の解消にすぎませんが当院薬局では～質の高い薬物治療への貢献～という目標を掲げています。

機械を導入し、調剤時間を短縮することにより薬剤師は患者様への服薬指導や医師や看護師への情報提供に時間を割くことができます。

又、当院では薬局で検査値を見ることができるのでこれをチェックする時間も確保できます。

そして入院患者様の副作用の早期発見や腎機能に応じた処方提案など細かな薬剤業務を培うことができます。

シャルティ、かわいい名前だけど頼もしい存在です。

天候に左右されたよさこい祭りが終わり、余韻まだ残る8月13日、広島市立城南中学校の藤戸柚花さんが当院へ病院見学に来られました。夏休みを利用した帰高の折に「娘が医療現場に興味をもっているの、具体的にどんな職種がどのような仕事に携わっているのか病院見学をさせてもらえないだろうか」と彼女のお父様から相談がありました。将来の糧になればと快諾し、午後のほんの3時間ほどではありましたが様々な部署を見学していただきました。中学3年生というと将来を模索し始める重要なお年頃、当院で「憧れのお仕事候補」を見つけられたかどうか、そして我々職員の姿はそのきらきらした瞳にどう映ったのかなと思っていたら、見学後、お手紙をいただきました。

拝啓

先日はお忙しい中、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。今回の体験でよりいっそう医療関係の仕事をしたいと強く思いました。

「医療はチームワークが大切です」この言葉が頭から離れません。実際に現場を見て、沢山の方が協力し合って治療されており、その言葉の意味が肌で感じられました。沢山の仕事の中で私が今回特に気になったのは「放射線技師さん」と「管理栄養士さん」でした。

放射線技師さんのお仕事の内容はあまり知りませんでした。しかし、医療には欠かせないとても重要で大切なお仕事でした。パソコンで立体的な心臓の画像を見たときは驚きを隠せませんでした。体にメスを入れて切って取り出したわけではないのにこんなにきれいに見えるのかとすごく不思議でした。管理栄養士さんは自分の通う学校にもいるので前から少し興味がありました。「バランスのよいメニューを考える仕事」と思い込んでいましたが、患者さんで歯が悪い人や高血圧、糖尿病の人などには別の似たものを出そうと考えていることや何かの行事の時には行事食をバランスを考えて作っていることにはびっくりしました。

今回の広島土砂災害では改めて命の大切さ、助け合うことの大切さを学びました。ボランティアに行きましたが予想をはるかに上回るくらい被害は大きかったです。怪我をされた方も沢山いると思います。そんな時に医学の知識があると活躍できるのではないかと考えました。学校の窓から現場がはっきり見えます。すごく胸が痛みます。「今日という日は誰かが生きたかった今日かもしれない」という言葉を聞きました。今こうして生きていられることに感謝し、一日一日を大切にしていこうと思いました。

私は人の役に立つ、人に必要とされる仕事がしたいということと知識があると家族や友人が怪我や病気になった際に力になれる！と思ったことから医療に心惹かれました。岡村病院の皆様が患者さんのことを大切に、あたたかい方ばかりでとてもかっこよかったです。私もそんなかっこいい人になれるよう、まずは高校受験をしっかりと頑張ろうと決めました。今回は本当にありがとうございました。

敬具



見学後の8月20日に広島の大豪雨災害が起こりました。病院見学、災害ボランティアを通して柔軟な頭と心に沢山の原石を積み上げてくれたのだなと思いました。

我々もまた「誰かが生きてかった今日」を生きている、そして「誰かが生きていたいと思っている今」を様々な立場で支えていることを再認識し、業務に携わっていくことが大事であろうと思います。「カッコいい」なんて気恥ずかしい限りですが、この手紙は本当に嬉しく日々の励みになることは確かです。柚花さんの今後のご活躍を心から期待したいと思います。

よさこい祭りに参加して

臨床検査室 合田 隆幸

2014年8月10・11日と第61回よさこい祭りが開催され、参加させていただきました。検査室の皆様の厚意で休みをいただくことができ、祭りを満喫させてもらってとても感謝しています。

今年のよさこい祭りは台風直撃のため前夜祭が中止となり、本祭の開催も危ぶまれるなかでのスタートとなりましたが、途中で雨が降ることもなく最後まで踊りきることが出来ました。

元々、体を動かすことが好きで友人の誘いで始めたよさこいですが、今年で参加して7年目になります。踊り始めてからは毎年踊っていて、参加して良かったと思います。人それぞれ参加する理由はあると思うのですが、自分にとってのよさこいは高知の夏を象徴するイベントであり、チームで作っていき競技でもあり、人生を変えるドラマでもあると思っています。

人から「あの炎天下の中、何で踊るの？」と聞かれたことがあります。確かに暑く、中には体調を崩される方もいます。今年は同じチームの中でも途中で一時リタイアされた人もいました。個人的な感情かもしれませんが、あの暑さの中で地方車から響く

音楽と歌声と一緒に、それぞれのチームが練習と共に作りあげてきた踊りを披露することに酔っているのかもしれませんが。以前に知り合った県外から参加される踊り子さんの情熱はすごく、よさこいに参加できる喜びを踊りに爆発させていたのを覚えています。

よさこい祭りの醍醐味として、メダルの存在があると思います。各競演・演舞場で参加賞のメダルを首にかけてもらいます。その瞬間は何とも言えない高揚感があります。その中で参加賞のメダルとは違う特別なメダルがあり、すべてを把握してはいませんが木で出来たメダルもあります。その中でも追手筋競演場でのみもらうことの出来る「花メダル」をもらうことは踊り子にとって、最高のご褒美かもしれません。「花メダル」をもらっている人はやはり目立ちます。

踊りを満喫することも楽しいのですが、人との出会いや交流もひとつの楽しみでもあります。仲良くなった踊り子さんとはよさこいが終わってもプライベートで交流を深めています。こういった出会いも魅力のひとつだと思います。今年のチームでは本祭の最中、恋人同士で参加していた彼氏が

踊り子のみんなの前でサプライズのプロポーズというシーンにも対面し、みんなから盛大な祝福を受けていて微笑ましい時間もありました。

高知にいるなら、一度は参加してみたいと思います。某有名チームのフレーズにも「よさこい、踊らにゃ損々」と。また、汗をかきながら昼間のビールは格別です。

来年もよさこいと共に夏を楽しめたらと思います。

病院入口にある四国銀行ATMの
営業時間が変わりました!

(営業時間)

9:00 ~ 21:00

※土日祝も営業致します。

● ニューフェイス ●



山崎憲明さん
夜間受付
趣味：旅行・ゴルフ



山本光男さん
夜間受付
趣味：釣り



古味稔也さん
4F 准看護師
趣味：バスケットボール



尾崎謙一さん
医事課
趣味：史跡探訪・俳句



一瀬将子さん
3F 看護師
趣味：読書



野村万弥さん
リハビリ助手
趣味：旅行



由比珠佐さん
3F 看護師
趣味：読書・DVD鑑賞



大谷千恵さん
4F 看護師
趣味：旅行・DIY



片岡育子さん
薬剤師
趣味：旅行



よろしくお願ひします。